私の夢は鹿児島県の農作物を未来に伝えることです。その具体的な方法として、大学で深めた制御技術の知識を活用して新型農作業機械を開発したいと考えています。

近年、若者の農業への関心が高まっています。しかし、関心の高まりに比べて若者の新規就農数は増加していません。それどころか、新規就農者の約3割が2年以内に農業をやめているのが現状です。これは、農作業に対する重労働で初心者には難しいといった一般イメージが原因だと考えられます。私はこの問題を農作業機械の進化で対応できると考えています。たとえば、農業初心者が犯しやすいミスを農作業機械が未然に防ぐといった事が考えられます。このように農作業機械を通して農業初心者の方々をサポートできれば、農作業への負のイメージが軽減されると考えられます。その結果、農産業全体が活性化していくと期待しています。そのことにより、鹿児島の農業も発展していくと期待します。